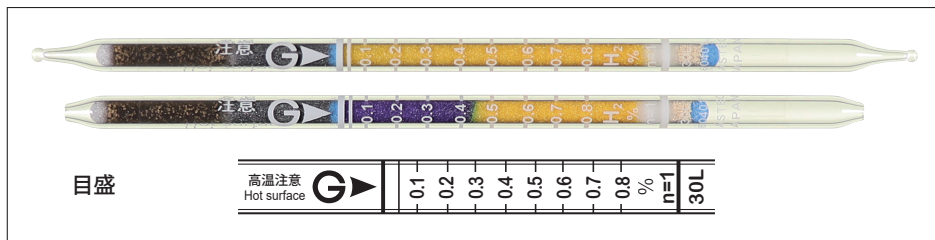


Hydrogen



- 本検知管は、水素濃度が2%を超える環境で使用しないでください。
 - 自然発火温度の低い物質の近くで使用した場合、検知管が発火源となり、爆発する恐れがあります。
 - 水素濃度 1.5%以上の場合、検知管表面が高温となり、やけどをする恐れがあります。
- ご使用の際は、耐熱手袋・保護眼鏡を着用してください。

仕様 最低目盛 (0.05%) は数値の記載が無く、実線のみ印刷してあります。

測定範囲	(0.05) ~ 0.8 %	0.8 ~ 2.08 %
吸引回数	1回 (基準)(100mL)	1/2回 (50mL)
係数	1	2.6
測定所要時間	45秒	30秒

検知限度： 0.03 % (1回吸引)

変色： 黄色 → 紫色

温・湿度補正： 温度

有効期間： 24 か月

変動係数：



反応原理

水素は酸化剤と反応して水蒸気を生成し、過塩素酸マグネシウムに吸収されて塩基性になり、指示薬は紫色を呈する。

干渉ガス

ガス名	共存濃度	干渉	単独の場合
一酸化炭素	500ppm以上	—	変色しない
二酸化炭素	0.5%以下	影響しない	0.5%まで変色しない
メタノール	2.0%以下	影響しない	2.5%まで変色しない
エタノール	1.5%以下	影響しない	3.0%まで変色しない
メタン	0.6%以下	影響しない	5.0%まで変色しない
アセチレン	200ppm以下	影響しない	2.0%まで変色しない
エチレン	100ppm以下	影響しない	2.3%まで変色しない
硫化水素	600ppm以下	影響しない	3.9%まで変色しない (1%以上で除去剤が発熱する)
二酸化イオウ	2.0ppm以下	影響しない	2.0ppmまで変色しない
アンモニア	5.0%以下	影響しない	6.0%まで変色しない (1%以上で除去剤が発熱する)

校正用ガス

高圧ガス容器詰法